

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第1回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

自主的な審議（公開）

（1）自主的な審議の進め方について

3 開催日時

令和7年4月16日（水） 午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委 員：秋山会長、横田副会長

阿部委員、泉委員、近藤（浩）委員、近藤（美）委員、齊藤委員、
角谷委員、高橋委員、西片委員、西田委員、牧田委員、山岸委員、
渡邊委員（欠席0人）

・事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、小池副所長、石黒係長

8 発言の内容

【石黒係長】

・14人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告

【秋山会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：西田委員に依頼

— 次第2 自主的な審議（1）自主的な審議の進め方について —

【秋山会長】

次第2 自主的な審議（1）自主的な審議の進め方についてに入る。

【石黒係長】

・資料No.1により説明

名簿順に二つの班に分かれて、それぞれ会長と副会長の進行で話し合っていたきたい。

— 班別に話し合い —

【秋山会長】

では、1班であがった意見の発表を発表させていただく。印象として、班別に分かれると皆さんが発言されると感じた。

地域独自の予算事業に制度が変わってから、備品購入が補助対象にならないため手を引いた町内会が多いという話があった。

また、令和6年度、7年度の三郷区と和田区の事業一覧を見比べた時に、同じ事業で補助金をもらっているケースが多いので、1度計画して申請すると継続してやっていける可能性が高いという話があった。その中で、三郷区では令和6年度と7年度に健康ウォークという事業があるが、7年度はバージョンを上げてバスを借りて野尻湖まで行くというような計画にしたようなので、毎年やっているけれどもその年度によって新しく動かすというようなやり方もあるという意見が出た。健康ウォークは和田区でも開催されていて、春と秋にきちんと仕組みとして定着しているという話があった。昔はたくさん町内で参加されたそうだが、今は少し減ってきているということである。その流れで健康ウォークの中で神楽を見るという話が出た。私は大和神社に行っているのですが、たくさんの町内が集まった神楽の奉納を見ているが、和田地区は少ない人数ながらも、春、秋の例大祭ではきちんと神楽をやっている

て、すごく大事なのでそういうものを盛り上げていけたらよいという話もあった。

もう一つ、上越妙高駅の脇野田通りが通学路なのでもう少し季節に応じた何か楽しい飾りができたらという意見があり、例えば、7月の七夕飾りであればそんなにお金もかけずやれるのではないかという話が出た。しかし、継続してずっとやっていくとなると、誰が言い出しっぺになって団体を作ってやるのかというところで話が行き詰まってしまった。かつてはお雛様を飾ったりして、にぎわいを作っていた団体があったが、今はやめているということなので、その事情を聞いてみるのも大事という意見が出た。

最後に、地域の人に関心があるのは防犯・防災ということで、この切り口でももう少し意見交換しようとしたところで終了時間となった。

【横田副会長】

現状どうやって活動しているか分からない団体等もあったが、そういうところにも話を聞いてみて、何ができるかも聞いてみたらどうかという話が一つと、何ができたらではなくて、何をやるための団体が必要かという意見もあった。今ここでいろいろと団体名や個人名をあげたとしても、町内というか和田区全域で承知している方が少ないのではないかという部分、地域住民にまで認知されるかどうかは別として、町内会長会あたりと親睦を深めてもよいのではないかという話も出た。

地域独自の予算を使うには、今会長も言われていたとおり、継続的に行えるものがよいというところで、例として出てきたのが和田区のビール会社のイベントを地域を巻き込んでやってみるのはどうかという話があった。最初の会場はその会社で、次は別の会場でというようにいろいろな場所で開催することで和田区全体にも広がっていけばという話だった。

あとは、駅のイルミネーションやイベントの開催などを含めて、小・中学生、実際小学校しかない区域ではあるが、高校生を含めた学生を交えて、いろいろなところへ声掛けしてみるのもありではないか。

余談になるが、防災士会の和田支部が近々に立ち上がるということなので、地域協議会としても当然協力できればというところで、何かいろいろとやっていただければというのは私の感想である。

【秋山会長】

今発表した以外のこともたくさん話題にあがっていたかと思うが、今後の意見交換の中で活かしてしていければと思う。地域独自の予算事業を上手に使って活性化していけたらよいと思うが、私たちのグループでは具体的に団体の名前をあげるところには至らなかったのが現状である。

このところの話し合いにおいて、三郷区という名前がちらほらあがっている。私たちのグループでも三郷区と和田区の独自予算事業を比較しての発言があったが、ほかの区の事例を勉強する機会を設けたらどうかという提案があるがいかがか。人口は少ないけれどもいろいろと活用されているところの勉強会を行うことについて異議はないか。皆さん頷いていらっしゃるようなので、どういう形で三郷区の話を行う機会を持つかということに関しては、地域独自の予算事業が8月末までに申請ということでそこに間に合うように6月くらいまでが実施のリミットかと思う。開催時期や中身については、相手もあることなので三郷区の方とも調整しなければならないので、正副会長と事務局に調整をお任せいただきたい。

(よしの声)

以上で、次第2 自主的な審議(1) 自主的な審議の進め方を終了する。

— 次第3 その他 —

【秋山会長】

次第3 その他 に入る。

3月27日に全28区による地域協議会会長会議があった。横田副会長から代理で出席していただいたので、概要を報告していただきたいと思う。

【横田副会長】

28区のうち26区が参加された。内容に関しては、ホームページでもダウンロードできる。地域自治推進プロジェクトにおける各検討項目の方策案等という、こちらは昨年皆さんに答えていただいたアンケートや各地域団体等にヒアリングを行った結果をまとめて、今後、こういう形で地域協議会を進めていきたいと思うと

いう内容の説明だった。30人近い中で説明をして、質問といっても正直各協議会の皆さんが困っているところの質問しか出なくて、全体を網羅するような質問というのは特になかったが、簡単に言うと、実際問題このヒアリングしたことの結果がちゃんと反映されるのは、私たちの次の協議会になってくるのかと思う。そういう部分で次の委員の方々がより進めやすい形になるようにまた何かしらあるかと思うし、また改めて市のほうで協議会に来て説明するという話があったので、時期的にはまだはっきりしていないがその時間をまた取る形になると思う。

【秋山会長】

新聞にも多少報道されていて、地域協議会委員の選考方法とかも大幅に変える方向性が示されているので、ぜひ読んでいただければと思う。

以上で、次第3 その他を終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【秋山会長】

次第4 事務連絡に入る。

事務局より説明を求める。

【小池副所長】

- ・今後の地域協議会の日程連絡

令和7年度 第2回地域協議会：5月21日（水）18：30から

第3回地域協議会：6月18日（水）18：30から

会場：ラーバンセンター第4研修室

【秋山会長】

- ・ただ今の説明について質問を求める

【阿部委員】

3月の会長会議で話のあった地域自治推進プロジェクトの資料は市のホームページには出ているが、プリントしたものはあるのか。

【小池副所長】

印刷してお渡しする。

【秋山会長】

印刷した資料を希望する方は事務局に問い合わせていただきたい。

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。